

# おいしくただく おいしいリンゴ 幸せ

長野県のリンゴが  
私たちの手元に  
届くまで

JA長野県のウェブマガジン「長野県のおいしい食べ方」は昨秋、普段、何気なく口にしているリンゴが、どのようにして私たちの手に届くのかー安曇野産を例に2回に分けて紹介しました。一つ一つ心を込めて栽培する農家はもとより、選果場を経て市場に至り、店頭に並ぶまでの各段階で最適な形で食卓へ届けようとする人々の姿が印象的でした。全国の消費者から寄せられたメッセージ<sup>②</sup>の一端を紹介します。

\*1 安曇野の畑から生まれるりんごを追いかけて



\*2 昨年10月13日から11月26日まで募集。  
全国から2574通のメッセージをいただきました。

## 01 生産



「ふじ」「シナノスイート」「つがる」など、リンゴにはさまざまな品種があります。その土地や気象に合った品種を農家が愛情を込めて栽培します。1本の木から採れるリンゴは約80個。傷があつたりして加工用に回すものを含めて2割ほどのロスが発生します。

## 02 選果所



収穫したリンゴは選果所に集まります。1玉、1玉を目視で確認後、熟度・糖度・蜜の有無から着色具合・大きさ・傷の有無をセンサーでチェック、等階級を決めます。同じ木から採れても出来具合はさまざまです。選果することで安定した品質を保つつつ出荷、消費者のニーズに応えます。

## 03 流通



市場は産地と小売店、消費者をつなぐ重要な役目を持っています。農家が収穫したリンゴは、選果所での選別、箱詰めを経て市場にたどり着きます。集まつたリンゴは市場で値段が決まり、全国の小売店から私たちの手元に届きます。

リンゴが私たちの手元に届くまでには、たくさんの人々の努力と情熱が込められていることを改めました。選果所での厳しい選別や市場での適正な価格設定が、消費者にとっても生産者にとっても大切な役割を果たしているのです。これからもおいしいリンゴを楽しみにしています。生産者の皆さん、そして流通に関わる全ての方々に感謝の気持ちを込めて、これからも頑張ってください!

さんしゃあさん(50代 男性 兵庫県西宮市)



初めて長野を訪れた際に食べたリンゴの味が忘れられず、店でリンゴを買うときは、長野産リンゴを手に取っています。香りが良く、味が濃く、なによりおいしい長野産リンゴのどりこになった私は、母とリンゴ購入旅を2回しました。写真は購入したリンゴの一部です。帰りのスーツケースには、「Heavy【リンゴ】」という荷札が付けられ、笑ったのも思い出です。近年自然災害が各地で発生し、農家さまも大変だと思いますが、長野産リンゴを楽しんであります。応援しております。

旅好きさん(30代 女性 福岡市)

長野出身の先輩や同僚がいて、長野のリンゴに誇りをもつてゐる郷土愛がすごいなと感じました。安曇野のリンゴを食べさせていただき、お日様の恵みをしっかり受けたおいしさを感じました。生産者の方々の努力と流通に関わる方々の思いがひしひしと伝わってきました。伝統を大切にしつつ、昨今の気温変動にも対応し、アップデートを図っておられることがや、おいしいリンゴを消費者におくろうという熱い思い、JAさんをはじめそれぞれの立場でのつながりや協力態勢に感動しました。

そらさん(60代 女性 広島県東広島市)

改めて生産者の方々に、自然の恵みに、受け継がれてきた伝統に、感謝の気持ちが強くなりました。ヨーロッパではリンゴを食べる医者いらすというござがあるといいますが、私もリンゴ信者の一人です。毎朝リンゴをむくところから私の1日は始まります。リンゴは私の生活に欠かせません。

あぶなーさん(50代 女性 佐賀県小城市)

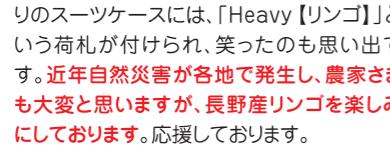
先日会社の同僚に長野旅行土産にシナノスイートをもらいました。とっても甘くておいしかったです。お土産に生のリンゴ、センスいいなと思いました。私も長野へ旅行に行った際は、リンゴのお菓子ではなく、生のリンゴがうとうございます。これからも栄養豊富でおいしいリンゴをお願い致します!

まりもさん(40代 女性 東京都中央区)



安心安全でおいしい長野県産リンゴ。おいしいリンゴはお店で生まれるのではなく畠で生まれるんだーという言葉が印象的でした! これからも微力ながら長野県産を購入して応援したいです。最近はリンゴのタルトタタンを作るのがマイブームです。

てっこちゃんさん(30代 女性 北海道釧路市)



生産者の方の妥協ない努力とあふれる愛情、そして1個のリンゴの価値を痛感しました。贈物ですね。生産者と販売者が命がけでつないだタヌキを消費者として受け取り、感謝と応援の心を忘れず食卓を彩り、おいしくこれからもいただきたいと思います。応援しております。

あいななさん(30代 女性 沖縄県名護市)



毎年この時期になると長野産のリンゴ目当てに何度もお店をチェックします。生産者さまの愛情たっぷりかけた安心安全なリンゴを選別して配達し、市場で競りにかけられてお店に並ぶまでたくさんの人の温かい気持ちが詰まっているんだなあと改めて実感。ますます応援したくなります。いつも優しい香りと味を届けてくださってありがとうございます。

あめしょくさん(20代 鹿児島県鹿屋市)



長野のリンゴやアップルパイを買っています。2019年の台風19号の翌年、車で向かう途中に見た千曲川のがれきに被害の大きさを実感しました。リンゴへの被害も思いつつ直売所へ。量も種類もかなり少ない、それでも買ったこと、おいしいかったことが思い出されます。昨年も異常気象で大変だったと思いますが、長野のリンゴに出会うことができました。リンゴ農家さんに感謝いっぱい、食べながら応援しています。

みちみっちーさん(50代 女性 埼玉県越谷市)

お店に並ぶたくさんのリンゴたち。この時期はリンゴ好きの私にとってワクワクする季節です。ですが長野県産と札のついたリンゴを見つけると思わず「おいしそうでもちょっとお値段が…と考えてしまふこともあります。今回、大切に守り育て送り出す方々の熱い思いを改めて知り、ちゅうちょする自分が恥ずかしくなりました。消費者としてこの熱い思いを私も受け取ろう! いつもおいしいリンゴをありがとうございます。

翡翠さん(60代 女性 千葉県松戸市)

おいしいものを安く買いたい消費者側とおいしいものを高く売りたい生産者側の思い、相反するそれぞの思いを裁く卸売人の存在、その巧みな仕事ぶりを垣間見ることができます。先日離れて暮らす息子家族(孫10ヶ月)に会いに行きました。私たちのおみやげはシナノスイート、息子家族からごちそうになったのは、ふるさと納税でいただいたシナノゴールドでした。私たちのリンゴ愛は確実に受け継がれました♪

まんまるちゃんさん(60代 女性 東京都葛飾区)

## 心温まる、たくさん応援メッセージ ありがとうございました!

毎年リンゴ狩りに行くほどリンゴが大好きです。1玉258円、はじめは高いと思いました。が、記事を読み、私たちの元に届くまでの過程を思うと段階の意味と価値が分かりました。長野のリンゴ、これからも選んで購入し食べていきます。おいしいリンゴを育て届けて下さる皆さまありがとうございます。

あきかせんさん(40代 女性 木曾町)



以前、松本市に住んでいた時に安曇野のリンゴを食べてからファンになりました。歯応えも味もほんとおいしくて、週末になると買いに行きました。今は中国地方に住んでいるため、なかなか手に入らずJAタウンや、お店で見つけた時に買ったりしています。最近暑が厳しく、災害も増えて、育てるのも今まで以上に大変だと思いますが、私みたいな根強いファンもいるので、これからもおいしいリンゴを届けてくださいね、しっかり食べて応援します!

さっちゃんさん(50代 女性 広島市)

「命懸けでリンゴを作るから、命懸けで売ってください!」この言葉に衝撃を受けました。何年も前から、わが家では「秋映」「シナノスイート」「サンふじ」と品種をリレーしながら、10\*入りの箱をお届けしています。生産者の方々の、思いの詰まったおいしいリンゴを、これからもたくさん食べたいです。

さわきちゃんさん(50代 女性 群馬県)

毎年長野のリンゴのシーズンを楽しみにしています! シューサーでおいしく、安心して皮ごといただいています。生産者さまの努力により安心安全への取り組みもされているのを知りました。小さい子どもも私たち家族も、リンゴをおいしくいただけることを感謝してこれからも楽しみたいです。

ともさん(30代 女性 名古屋市)



リンゴ高くなつたなあ、と思っていましたが、ものの値段って何だろうと深く考えさせられました。育てる苦労はもちろんのこと、流通、卸業、さまざまな人が関わっての価値なのだと。卸業の仕事についてはじめてその内容を垣間見ることができました。

こたつきさん(50代 女性 川崎市)

